

## 初期臨床研修プログラム:耳鼻咽喉科

コース責任者: 高倉大匡 指導医・上級医: 高倉大匡、阿部秀晴  
コースの位置づけ: 必修科として、0ヶ月、選択科として1か月(週2回)から

### I 一般目標(GIO : General Instructional Objective)

- ・臨床医として必要な耳鼻咽喉科領域の疾患に対し知識と診療技術を身につけ初期対応ができるようになる
- ・救急疾患を中心に、耳鼻咽喉科専門医に適切なコンサルテーションができるようになる。

### II 行動目標(SBOs : Specific Behavioral Objectives)

- 1) 適切な病歴聴取ができる。
- 2) 耳・鼻・口腔・咽頭の診察および所見の記載ができる
- 3) 鼻腔および喉頭内視鏡を自ら行い、結果を評価できる
- 4) 聴力検査・平衡機能検査などの検査を正しく評価できる
- 5) 耳鼻咽喉科領域の代表的疾患について、Xp・CT・MRIなどの画像評価ができる。
- 6) 耳鼻咽喉科領域の救急疾患(めまい・鼻出血・中耳炎・簡単な異物除去・外傷・咽頭痛)の評価および初期対応ができる
- 7) 頭頸部領域の疾患において専門医への適切なコンサルテーションができる

### III 学習方略(LS : Learning Strategy)

必須事項: めまい・鼻出血・咽頭痛・中耳炎 を有する症例を経験する

病棟診療: 指導医の担当する患者を中心に入院患者の診断・治療などに携わり、毎日病棟回診を行う。とくにめまい・咽頭痛の入院症例については積極的に診断と治療に携わること。  
業務: 頻度の高い処置や簡単な手術症例については指導医の元、研修医が術者となり行う。  
難易度の高いものについては指導医の助手として手術に携わる。

### IV 学習評価(Ev :Evaluation)

知識: レポート。EPOC 対応

技能: 診察・技術などに関して適宜評価

態度: 指導医もしくは看護師他コメディカルの評価にて行う。

\*当科でのレポート作成が適している項目: めまい・中耳炎・鼻出血・咽頭痛

補足:

耳鼻咽喉科研修における週間予定

曜日	午前	午後
月		
火	外来診療	検査、外来診療
水		
木		
金	外来診療	検査、外来診療